

今号の表紙

美里町消防団第二分団

今年3月に完成した新詰所・車庫の前で撮影を行いました。

第二分団の管轄区域は下児玉、北十条、南十条、沼上の各行政区で、今年度から学生消防団員が二名入団し、中堅層から若者まで幅広い年齢層の団員15名で構成しています。

活動は火災現場の消火活動や消防団の訓練だけでなく、AED講習や消火訓練の講師など地域と連携した活動も行っています。

美里町消防団では、女性や学生の消防団員も募集していますので、興味のある方は役場総務課(☎76-1115)までお問い合わせください。

お知らせ

次の定例会(本会議)は

9月2日(火)9:00開会

一般質問は9月22日(月)の予定です。

停聴のご案内
美里MSミムラ

編集後記

今号(150号)より全員参加の編集委員会に編成され、読むから見るをモットーに写真を多く取り入れました。特集として、見に行く・聴きに行く・調べに行く・会いに行くの視点から「+プラス議会」の新企画もスタートしました。皆様のところへお伺いする機会が増えると思いますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

また、美里町消防団第2分団車庫が完成しましたので、表紙に採用させていただきました。

7月10日には、記録的短時間大雨等により町内でも道路冠水や倒木等の被害が発生しました。自然災害は、増加の一途です。梅雨も明け、厳しい暑さが続きますので、お体をご自愛ください。

編集委員一同「議会だより・みさと」をさらに読みやすい・見やすい内容になるよう創意工夫してまいります。町民の皆様には、本誌を愛読していただき有難うございます。お気づきの点やご意見等ありましたらお寄せいただければ幸いです。



議会だより編集委員会
副委員長 櫻沢 克幸

町民の声



今回は、昨年から下児玉で新規就農し農業に挑戦された根本さんにお話を伺いました。

これまでどんなお仕事をされていたんですか?



不動産ファンド、システム開発、新規事業の構築などを行い、いわゆる「なんでも屋」みたいな働き方をしてきました。人と関わるのが好きだったので、自分で企画したりサービスをつくったりするのが楽しかったです。



農業を始めたきっかけは?



町内で行っていた発電事業の副産物としてでた木酢液がきっかけで農業に使えるのでは?と、いろいろと調べてたのがきっかけです。もともと食や農業も関心がありましたが、コロナ禍でライフスタイルも変わりテレワークできる状況になったことも後押しになりました。



なぜ美里町を選んだのですか?



都内からの距離感もちょうどよく、四季を感じられる自然が沢山あって住みやすい町だと思います。美里町に住んでいると渋滞なしで、色々なところに遊びに行けるので、都内の友人にも住んでみたらいいよとオススメしております。



どんな作物を育てていますか?



現在は都内で販売するために20品目程度の野菜を育てています。日々試行錯誤ですが、「土を触る」「芽が出る」「収穫する」という一連の流れがとても面白いです。農業体験希望者も多く、今年は手植えイベントを行い総勢20名ほど参加いただきました。



これまでの経験は農業に活かしていますか?



正直、畑仕事はまったくの初心者なので、農業そのものはゼロからのスタート。でも、これまで培ってきた「人とつながる力」「アイデアを形にする力」は、地域との関係づくりや農産物の販路開拓など、いろんな場面で活かせていると感じます。



今後の目標は?



農業を通して、美里町にもっといろんな方に足を運んでもらいたいです。都内の若い人や移住を考えている人が、「こんな生き方もあるんだ」と思えるような活動をしていきたいです。



Profile プロフィール

氏名: 根本 貴宏
趣味: DIY
好きな言葉: まずはやってみる

編集委員: 橋場倅男

